

目指すべき国の姿について

目指すべき国の姿（第3章）と全体の関係について

- 「**目指すべき国の姿**」とは、科学技術イノベーション政策により**どのような国を実現するのか**を示す**理念**。
- 第5期科学技術基本計画では、**その理念に向けて、経済・社会の状況**を踏まえ、「**未来の産業創造・社会変革**」、「**課題への対応**」、「**基盤力の育成・強化**」、「**人材・知・資金の好循環**」の**4つの柱で政策を体系化**。それらの関係は概ね以下の通り。

第3章の内容

世界・日本の潮流（日本の将来に影響を与えるもの）

（ICTの進化、グローバル化の進展、ネットワーク化、イノベーションの創造プロセスの変化、人口減少、社会の成熟化、知のフロンティア拡大等）

国内外が直面する課題

（少子高齢化、エネルギー制約、大規模地震、安全保障環境、地球規模課題等）

目指すべき国の姿

安全・安心
と豊かさ

地球課題
国際貢献

持続的成長
と地域発展

知の資産の
持続的創出

第5期基本計画の基本方針

①未来の産業創造・社会変革

（キーワード）新たな価値の創出、挑戦、システム化、システム統合、基盤技術・・・

→第4章

②課題への対応

（顕在化課題への対応）

→第5章

③基盤力の育成・強化（人材、知の基盤等）

→第6章

④人材・知・資金の好循環

→第7章（、8章、9章）

「目指すべき国の姿」の具体像について

我が国の持続的な成長と地域社会の自律的な発展

→ 地域も含めた社会全体の活性化、国内の適切な雇用の確保が図られ、経済力の維持向上が図られている国

(具体例)

- 科学技術イノベーションを通じ、エネルギー・資源・食料等の海外依存度が低下するとともに、社会保障やインフラ維持管理などの公共サービスの質とコストのバランスが図られる。
- ロボットやA Iなどの新しい技術の発展、女性や高齢者の雇用・活躍の促進により、生産人口の減少の影響を緩和し、産業競争力の強化や社会の活性化が図られる。
- 多種・大量のデータを適切に活用することにより、エネルギーの効率的利用、少量多品種生産、高い品質や質の高いサービスの実現が図れ、従来の産業・サービスのコストパフォーマンスが最大化される。
- ビッグデータ活用基盤やA I技術の活用が進むとともに、新規な発想を有する人材が挑戦でき活躍する環境が整備されることにより、新しいサービス・産業が創出され、我が国初のゲームチェンジが数多く起こる。
- 国内外の様々な課題の解決策をビジネスとしてグローバルに展開することにより、産業競争力の強化が図られる。

国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現

→ 国及び国民の安全が確保され、超高齢社会が進む中で国民の豊かで質の高い生活が確保されている国

(具体例)

- 我が国を巡る安全保障環境の変化や犯罪・テロ等の発生に適切に対応し、国や国民の安全が確保される。
- 防災・減災や国土強靱化等に向けた取組が進み、国民・企業が安心して、社会活動や経済活動を行える環境が構築される。
- 環境技術の発展と社会実装が進み、快適な生活環境や労働環境が確保され、全ての国民が生き生きと快適に暮らせる環境が構築される。
- 多種・大量のデータやロボット・A Iの活用等により、質の高い公共サービスが適時適切に、低コストで受けられるようになり、全ての国民が安心した質の高い生活を享受できるとともに、国民一人ひとりが心の豊かさを実感する。

地球規模課題への対応と世界の発展への貢献

→ 科学技術イノベーションを通じ我が国の存続の前提となる世界の持続的発展に主体的に貢献している国

(具体例)

- 気候変動、資源・水・エネルギー、自然災害、感染症など、世界人類が直面する地球規模の課題解決に向けて、我が国が中心的役割を担う。
- 我が国のポテンシャルを活かし、新しい科学技術の創出や他国の課題解決に関する国際連携・協力に積極的に関与し、リーダーシップを発揮する。
- 課題先進国として、様々な社会・経済課題の克服した経験や知見を、アジアなどの後続の国々に対し新しい成長モデルを提示し、それらの国の発展に貢献する。

知の資産の持続的創出

→ 多様な卓越知が絶え間なく創出され、その成果の社会実装までが効果的・効率的に実現されている国

(具体例)

- 科学技術イノベーション活動に関わる職が専門職として確立され、そこに関わる人材が年齢、性別、国籍を問わず、分野、組織、国境などを越えて流動し、活躍する。
- オープンサイエンス等の新たな動きも取り入れながら、国際的な競争・協調の中で、知のフロンティアに果敢に挑戦し、イノベーションの源となる画期的な知識や価値が数多く創出される。
- オープンイノベーションの進展等を通じ産学官の連携が強化され、新しい知が、スピード感を持って経済的価値・社会的価値や社会実装に結びつき、更にその収益が再投資されるという自律的なイノベーションシステムが構築・運用される。

4章での記載事項につながるもの

5章での記載事項につながるもの

6章以降での記載事項につながるもの